

# 同意書

医療法人社団 新井内科医院殿

治療前 個人チェック項目

- 禁忌 G6PD 欠損（低下）症 慢性心不全 高度の腎不全・透析慎重投与 腹水貯留  
胸水貯留 リンパ浮腫 頭蓋内腫瘍 甲状腺機能亢進症
- 併用禁忌薬剤 メトトレキサート内服 ベルケイド内服
- 年齢制限 未成年者

以上の禁忌事項に該当しません

- ◆私は新井内科医院における治療について、別途説明書〈高濃高濃度ビタミンC点滴療法について〉に基づき医師から十分な説明を受け、よく理解し納得した上で同治療を希望いたします。
- ◆点滴の効果、安全性、副作用につき十分に理解しました。また、本治療は1回の治療で十分な効果が得られるものではなく、一定回数継続してはじめて効果が得られる治療法であることを理解しました。
- ◆治療中にやむを得ず緊急処置の必要性が生じた場合、医師による適切な処置を受けることに承諾・同意いたします。その治療費用は自己負担となることを承諾・同意いたします。
- ◆新井内科医院における本治療法は、ガンに対する治療ではなく、あくまでもビタミンCの持つ抗酸化作用を利用した美肌・全身美容健康療法の一貫としての治療であることを理解しました。
- ◆私は本治療を自らの意思で希望し医院へ依頼します。決して勧誘や強制では無いことを証明します。

平成 年 月 日

患者様署名

住所

電話

親族または理解補助者（父母・配偶者・兄弟姉妹等）

氏名

住所

電話

注：提供された同意書は初回治療前であればいつでも撤回できます。

撤回された場合でも当院において不利益を受けることは一切ありません。

平成 年 月 日

私は上記の説明に基づき、お客様に対する診療についてご説明いたしました。

説明医師署名

# ＜説明書＞ 高濃度ビタミンC点滴療法について

## 1. 身体本来の抗酸化力を高める、手軽なアンチエイジング療法。

高濃度ビタミンC点滴は、文字通り高濃度のビタミンCを点滴で体内に入れる治療です。ビタミンCが体内に入ることによって、一時的に体内の抗酸化力が高まります。ビタミンCは経口摂取しても吸収に限界がありますが、点滴で入れると血中濃度が20~40倍になり食事では不可能な強力な抗酸化作用を得ることができます。美肌効果の面では、プラセンタの併用が非常に有効的です。

点滴終了後、次回点滴までの期間はレモンなどのビタミンCを意識して摂取いただく事で、体内の抗酸化作用は更に安定して効果を発揮します。

## 2. 本治療法の副作用は非常に少ないと言えます。血管穿刺部位の痛み、頭痛、吐き気などの症状が起きることがありますが、点滴速度を緩徐にすることで多くは解決されます。また、偶然にもガンが存在し、ガン細胞に対する治療効果が得られた場合には、腫瘍が壊死を起し出血することがあります。他にG6PD欠損症による溶血クリーゼ、発熱、嘔吐、低カルシウム血症等の報告があります。

## 3. G6PD欠損（低下）症、妊娠中の方、未治療の甲状腺機能亢進症、腹水貯留、胸水貯留、リンパ腫、頭蓋内腫瘍、心不全、高度の腎機能障害、腎不全（透析中）のある方は治療できません。

それ以外の方であれば、どなたでもお受け頂けます

## 4. 併用禁忌の薬剤としてはメトトレキサート、ベルケイドがあります。

## 5. 高濃度ビタミンC点滴は、こんな方にお勧めです！

- ・ 疲れやすい
- ・ タバコをたくさん吸う
- ・ ストレスを溜めやすい
- ・ 風邪をよくひく
- ・ お酒をよく飲む

- ・ 外にいることが多い
- ・ 日焼けをしてしまった
- ・ 倦怠感を感じる時が多い
- ・ 活性酸素を除去したい
- ・ インフルエンザの予防
- ・ よく運動をする
- ・ 免疫低下を感じる

- ・ 最近シミが気になる
- ・ 寝起きが悪い
- ・ 毛穴の開きが悩み
- ・ ニキビや肌荒れに悩んでいる
- ・ 最近お肌の弾力がなくなった
- ・ 髪にコシ・ツヤがなくなった
- ・ お肌に透明感が欲しい
- ・ アトピーを改善したい

- ・ 老化を遅らせたい
- ・ 歯周病が心配
- ・ うつ病

## 6. 本治療では健康保険が適応されず、治療、検査、処方の方が保険外診療となります。

## 7. 『自分の希望する回数・治療期間で自由にやりましょう』が当院の方針です。無理に続けるのではなく、しっかりご自身の肌や症状などを向き合い、効果を是非実感して下さい。

# ガン治療に対する説明

★この治療に関して一部で話題になっているガン治療効果は、医学的に証明されていません。

★もし証明されているのであれば、副作用のないビタミンC治療を行わない理由がなく、大学病院やがんセンターなどで癌患者さんに対して行われているはずです。

ガンに対する効果は2018年時点で研究段階であり、確固たる医学的根拠はありません。信頼度としては民間療法と同じレベルです。インターネット上の多くの病院が謳っているガン患者さんへの説明は高額治療の誘導・煽りなどが多く、不適切なものも多くみられます。

医学的根拠のある治療として証明されるには、医学論文として世界に認められる必要があります。ところがネット上の病院の多くが提示している論文は動物実験や試験管内の試験結果です。一般患者さんから見れば、もっともらしい内容に見えてしまいがちですが医学界では人間への効果を示した論文と実験論文では重要度が全く違います。

人間への治療効果を証明したものは非常に少なく、信用に足る論文は見つかりませんでした。個人レベルでは効果があったとされている発表も、基礎となる抗がん剤を併用しています。抗がん剤とビタミンC両方使用されている為、ビタミンC単独の効果を証明できません。

尚、**ガン患者の苦痛を軽減する効果や、一定の余命を延長する効果は証明されているようです。**

当院で海外の医学論文を調査した結果、世界的に最も権威ある医学論文雑誌 [The New England Journal of Medicine](#)にて、『ヒトに対する高濃度ビタミンC療法はガンの縮小、抑制、余命延長は証明できなかった』という論文が出ていました。しかし、これもまた「[内服サプリによるビタミンC療法](#)」に限定した話であり、点滴を用いた治療と全く異なる論点であり、点滴療法を完全に否定するものではありませんでした。

このように、いろいろな意見があり患者さんは非常に混乱してしまうと思います。簡単にまとめると「**2018年時点で、ガンに対する効果はまだ分からない**」というのが結論となります。

将来的に証明される可能性はありますが、現時点で確実に証明されたものでなければ当院は認めません。したがって、正式に証明されるまで『ガンを治す』という目的でこの治療を行うことはありません。がん治療ではなく『抗がん剤治療に対する補助療法』としてならビタミンCの有効性は期待できる論文はいくつか出ており、こちらは比較的期待できそうです。

**誤解のないように補足しますが、ビタミンCの持つ抗酸化作用は極めて優れており、美肌や酸化ストレス改善、動脈硬化予防、各種免疫機能正常化、疲労改善など健康に素晴らしく良い効果があることは間違いなく証明されています。**

**体にとって素晴らしい効果を持っているばかりか、ビタミンCは“栄養素”であり化学合成された薬ではありません。また、水溶性なので体への害や蓄積はなく、極めて安全性の高い治療成分であると言えます。**

**したがって、高濃度ビタミンC点滴治療は美容や美肌目的だけではなく、健康増進・疾病予防に非常に優れた治療法であると言えます。**

ガンに対する効能は不透明ではありますが、第一の目的を「美容と健康」とした上で、「もしかしたらガン予防にも効果があるのかもしれない」と考えることは、患者さん側の自由な期待・希望として存在しても良いとは考えています。